




●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

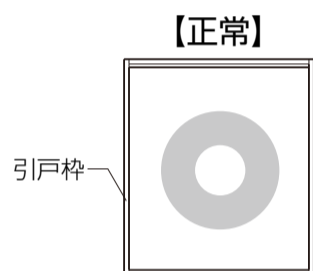
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本製品の組立て後の製品重量は、障子1枚あたり最大で60kgになります。対応する人数で施工および建込みを行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

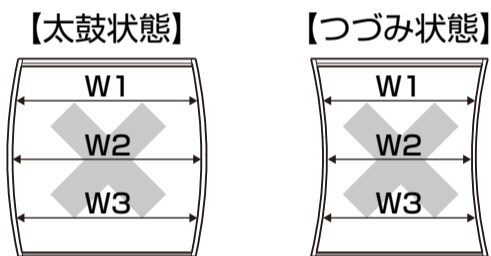
■取付け上のお願い

- 本製品は合わせガラス仕様の場合など、かなりの重量がかかります。下枠が下がらないようにモルタルを充てんしてください。
 - 枠は必ず指定の木ねじで固定し、下枠のモルタルが固まったことを確認してから障子を建込んでください。
 - 開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
 - 施工前には必ず開口部の水平・垂直および枠の出来寸法を確認してください。(枠の出来寸法は、カタログを参照してください。)
- 「気密性能の低下」
「障子の開閉が重くなる」
「カギがかからなくなる」
といった原因になります。



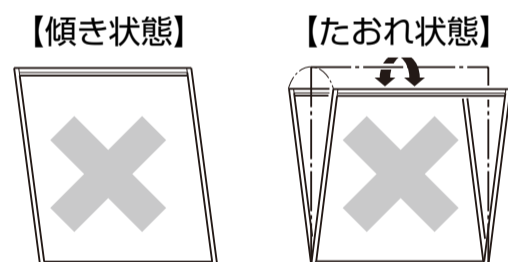
■枠のW方向の確認

●枠のW方向の寸法(W1・W2・W3)を同じにしてください。錠の位置が合わなくなります。

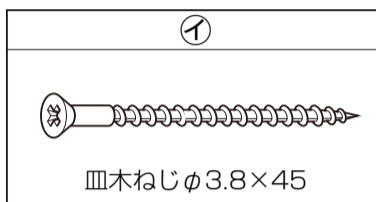


■枠の傾き・たおれの確認

●枠の傾き・たおれをなくしてください。

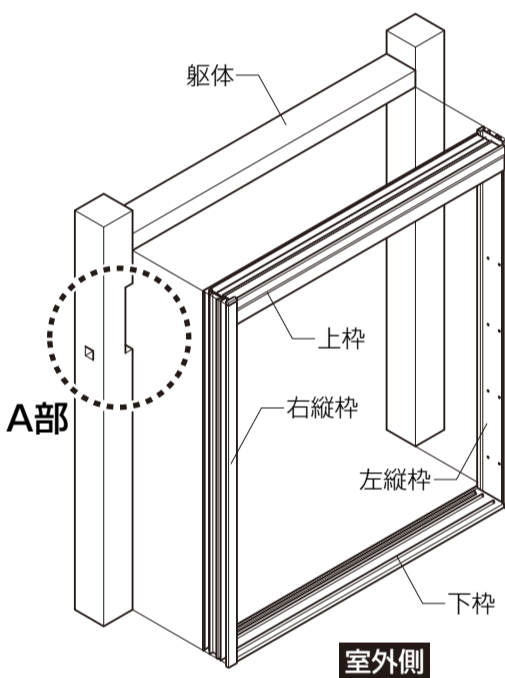


■ねじ一覧表



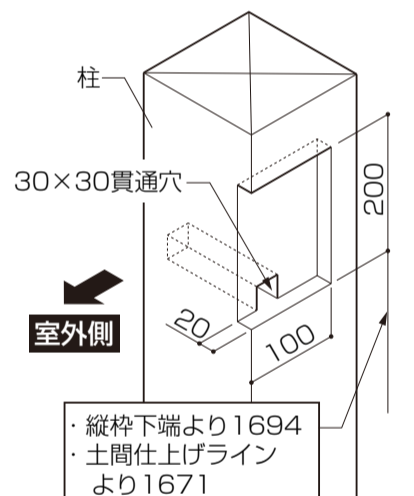
■配線引出し部木加工図(電気錠仕様時のみ)

●電気錠仕様の場合は、柱に加工をしてください。枠を取付けるときは、枠についている配線を柱の加工穴に通してから取付けてください。



■A部詳細図

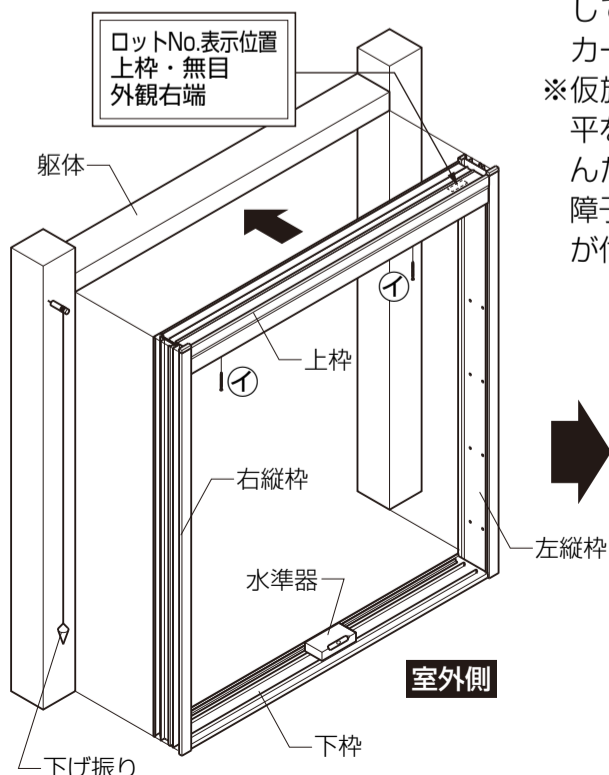
※本図は外観左側に電気錠システムが取付く場合の加工図を示します。(外観右側に電気錠システムが取付く場合は、本図と左右対称となります。)



■取付け順序

1 枠の取付け

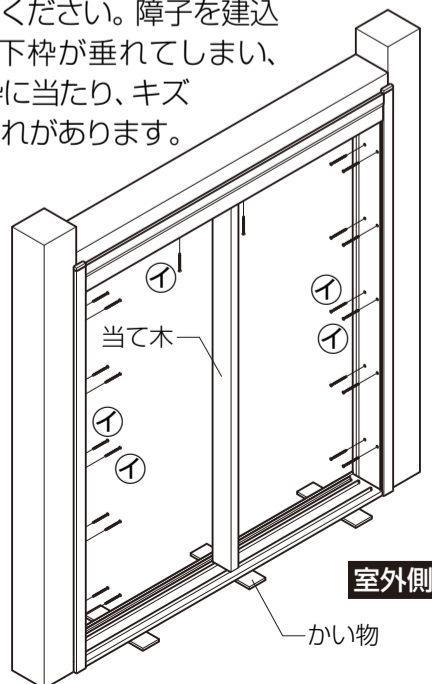
①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、本固定します。

※下枠はかい物・当て木などをして水平を出し、モルタルの充てんによりくずれが出ないようにしてください。かい物を入れる際は、下枠アンカーに当たらないようにしてください。

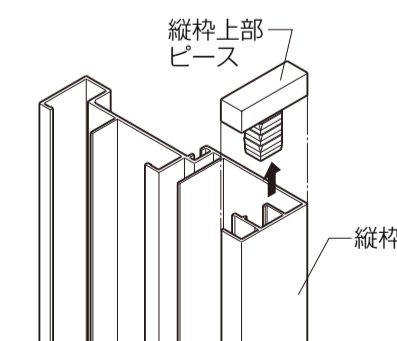
※仮施工時にも下枠に、かい物・当て木などをして水平を出してください。障子を建込んだ際に、下枠が垂れてしまい、障子が下枠に当たり、キズが付くおそれがあります。



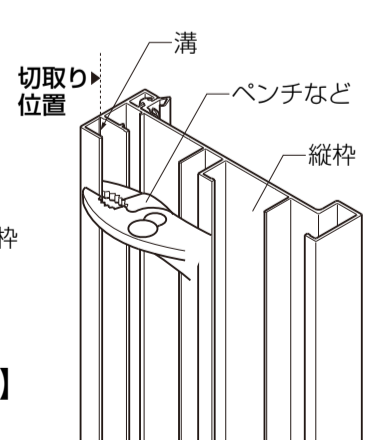
■真壁納まり対応について

●縦枠には、あらかじめ溝を設けてあり、フィンを取りやすくしています。
※縦枠フィンを取り除く際は、ペンチなどを利用してください。
※真壁納まりにする場合は、縦枠上部ピースを外し、上枠コーキングシーラーのミシン目部分を切って使用してください。

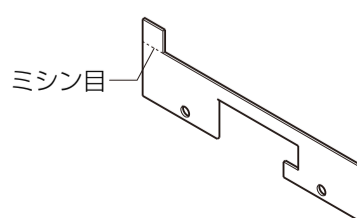
【縦枠上部ピース】



【縦枠フィンの切取り】

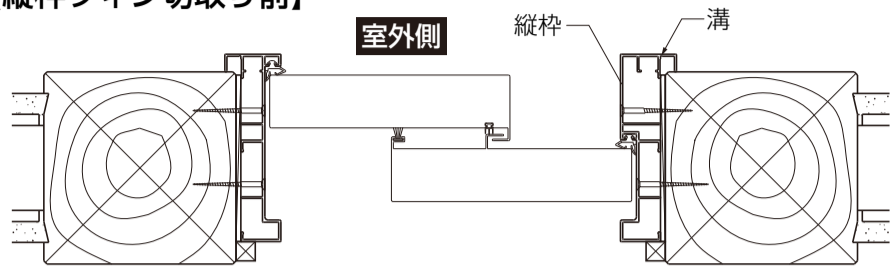


【上枠コーキングシーラー】

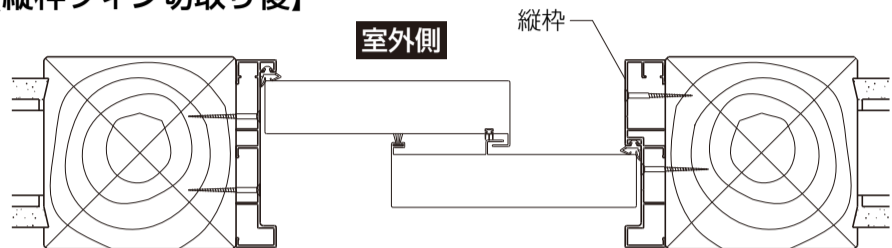


■納まり図

【縦枠フィン切取り前】



【縦枠フィン切取り後】



■障子の建込み

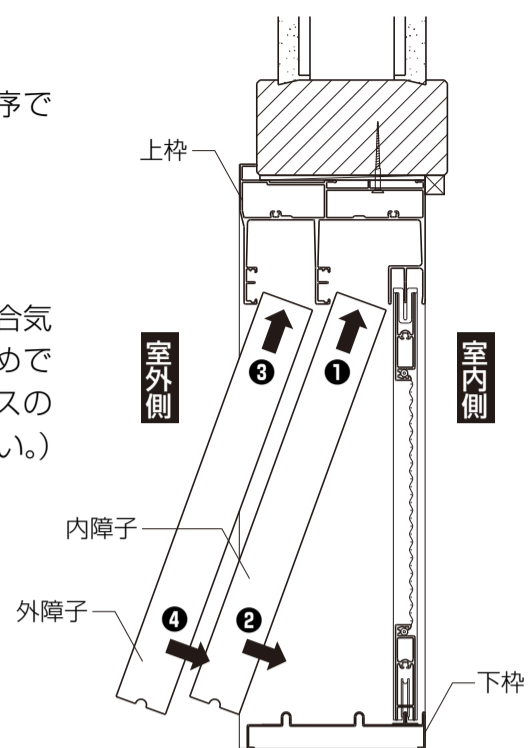
●図の順に内障子から建込みます。

※2枚建(手動)・4枚建は、下記の順序で建込み、調整をしてください。

- 1) 障子の建込み(内障子のみ)
- 2) 障子の建付け調整
- 3) 召合気密ピースの調整

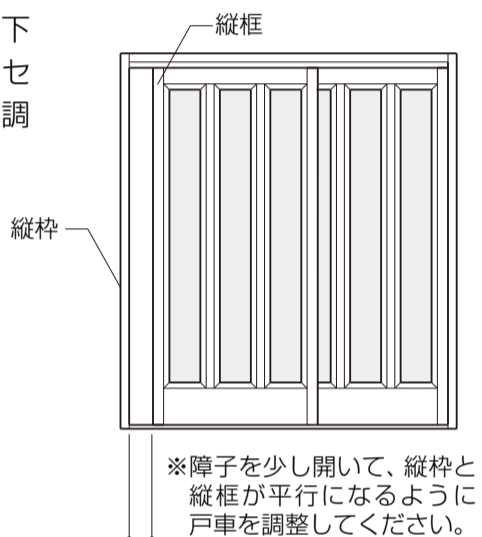
※外障子を建込んでしまうと、召合気密ピースの調整ができなくなるためです。(調整方法は、「4 召合気密ピースの調整(召外・召内)」を参照してください。)

- 4) 障子の建込み(外障子)
- 5) 障子の建付け調整

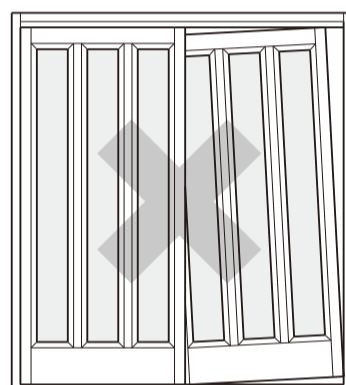


■障子の建付け調整(戸車の調整)

●戸車は、障子をもっとも下がった状態になるようにセットされています。(戸車調整幅：上方向に約5mm)



■傾き状態

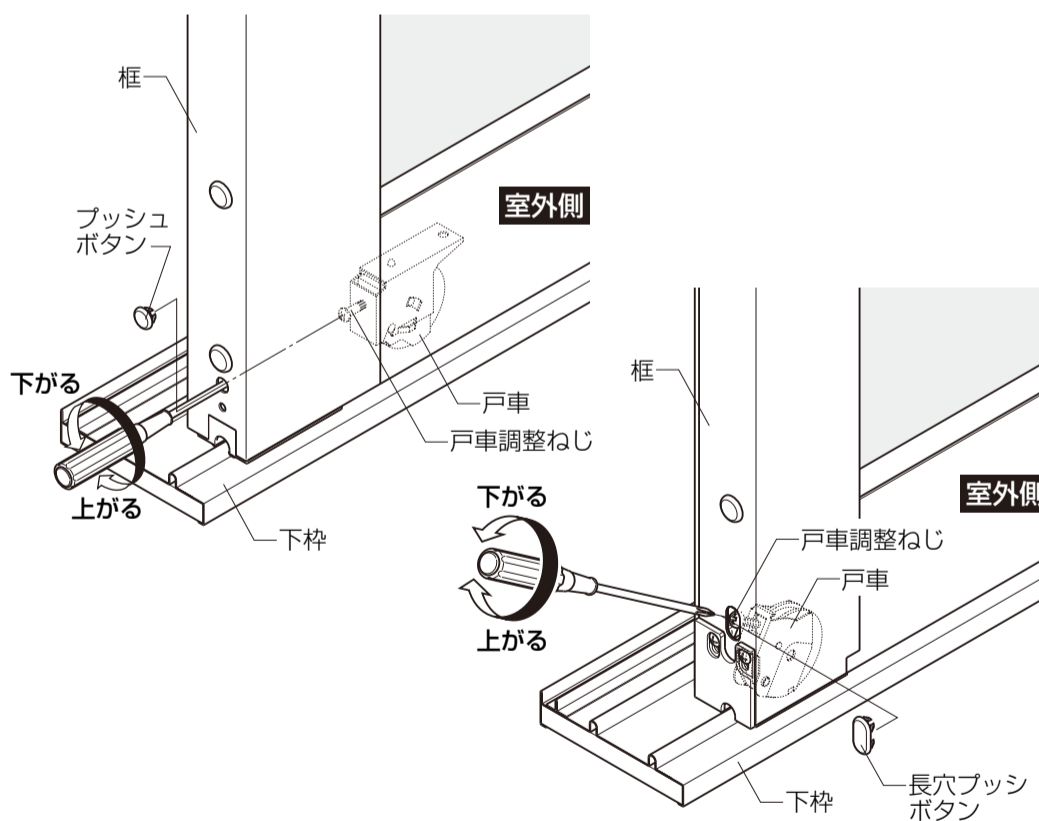
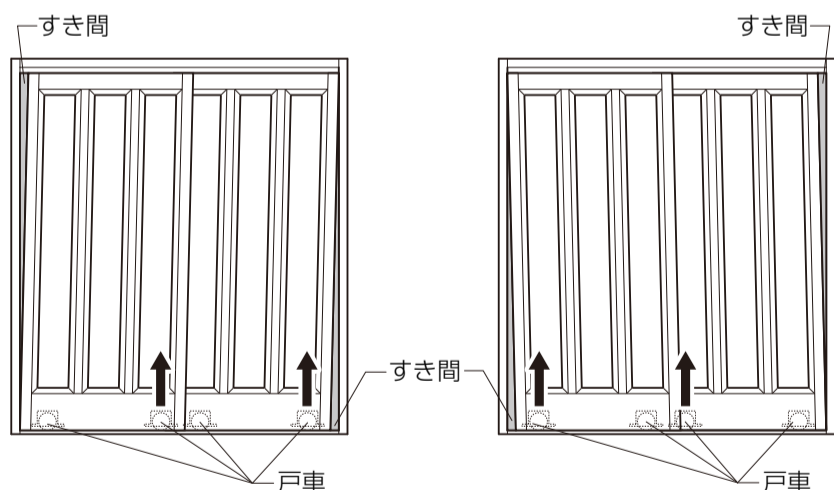


●お願い
●縦枠と縦枠が平行でない場合以外は、戸車調整をしないでください。戸車を両方とも上げた状態にするとすき間が大きくなり、すきま風や砂ホコリが入りやすくなります。

■戸車の調整

●障子の納まりが悪い(縦枠と縦枠が平行でない)場合は、戸車調整ねじを回して障子の傾き・ズレを直し、縦枠と縦枠が平行になるように調整してください。(戸車調整幅：上方向に約5mm)

※調整する前にプッシュボタンの形状をご確認ください。長穴プッシュボタンの場合、斜めからドライバーを差込んで調整します。

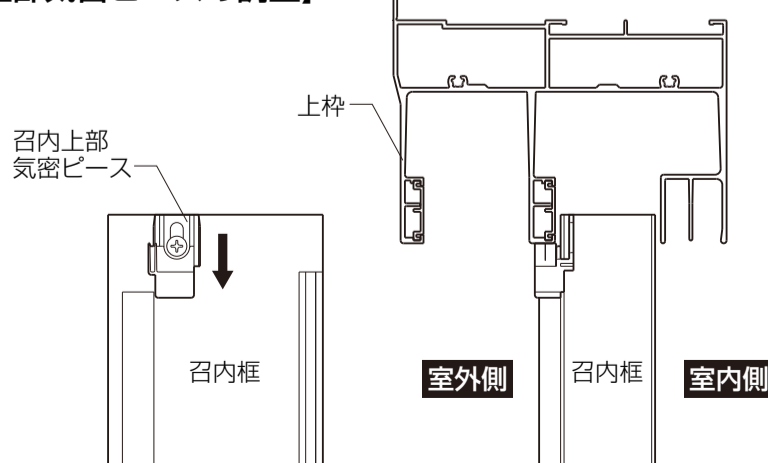


■4 召合気密ピースの調整(召外・召内)

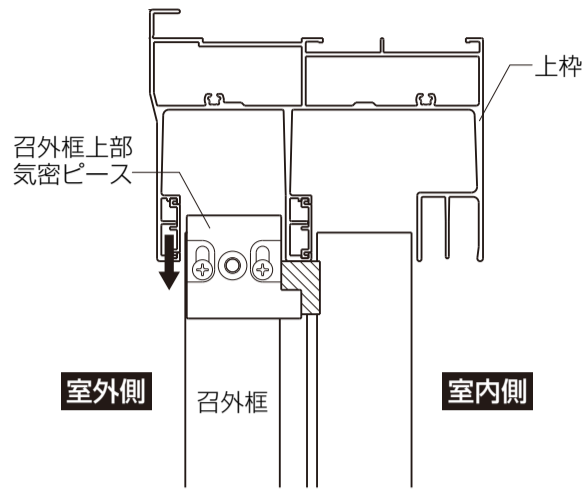
●障子を閉めた状態で気密ピース取付けねじをドライバーでゆるめて、ヒシが図のように当たる設定となるように調整してください。なお、機種によって調整箇所が異なりますので、一覧をご確認の上、調整してください。

		召内上部気密ピース	召外上部気密ピース	召外下部気密ピース
2枚建	手動	○	—	—
	手動以外	—	○	—
4枚建		○	—	—
引分け戸		—	—	—

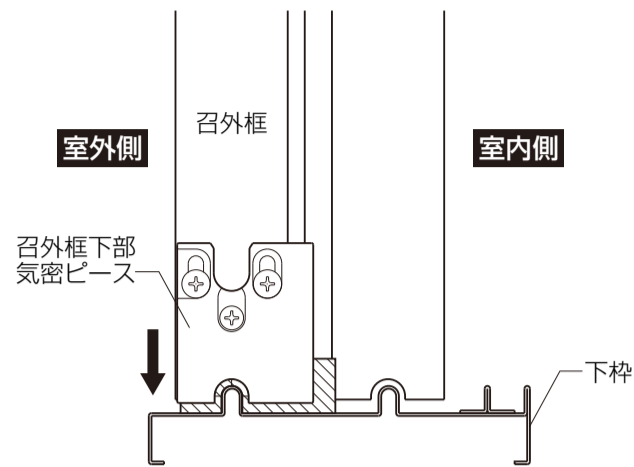
【召内上部気密ピースの調整】



【召外上部気密ピースの調整】

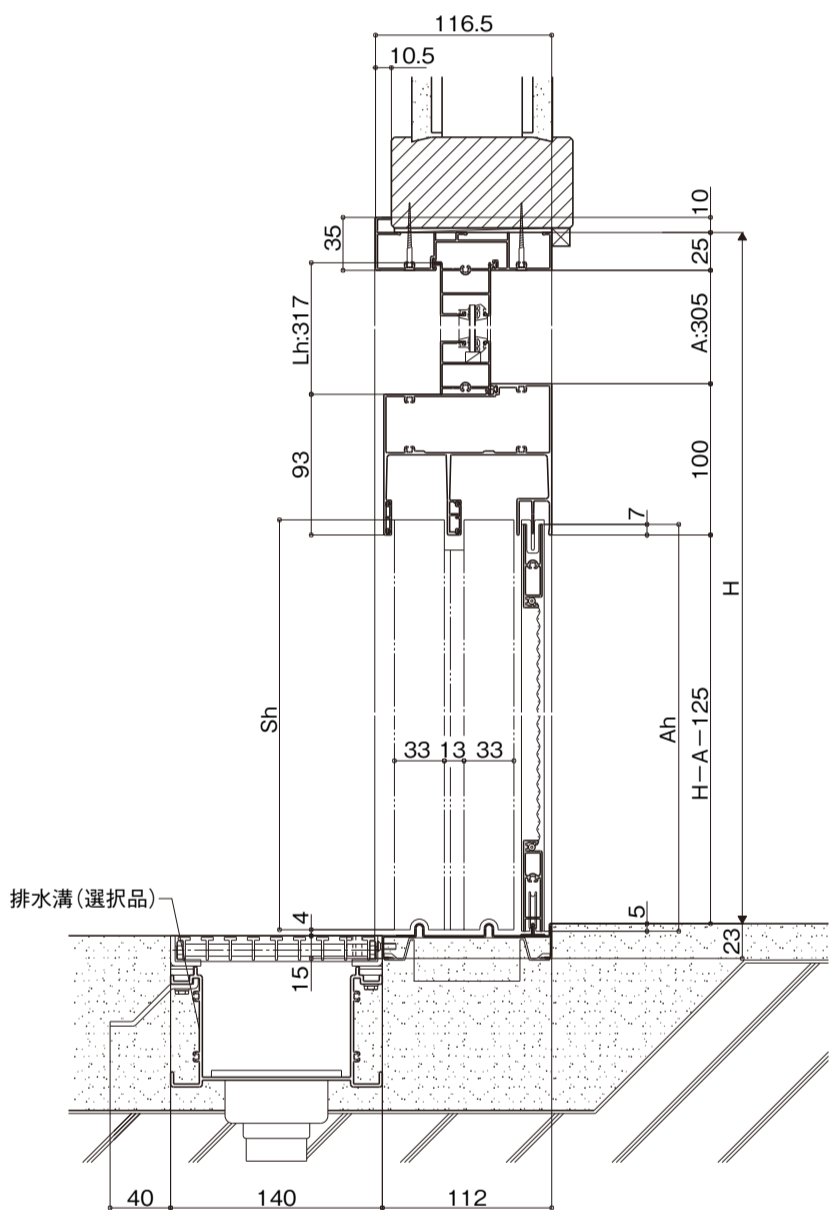


【召外下部気密ピースの調整】

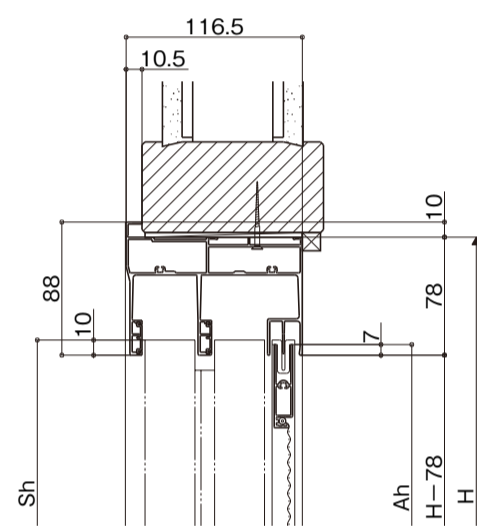


参考納まり図

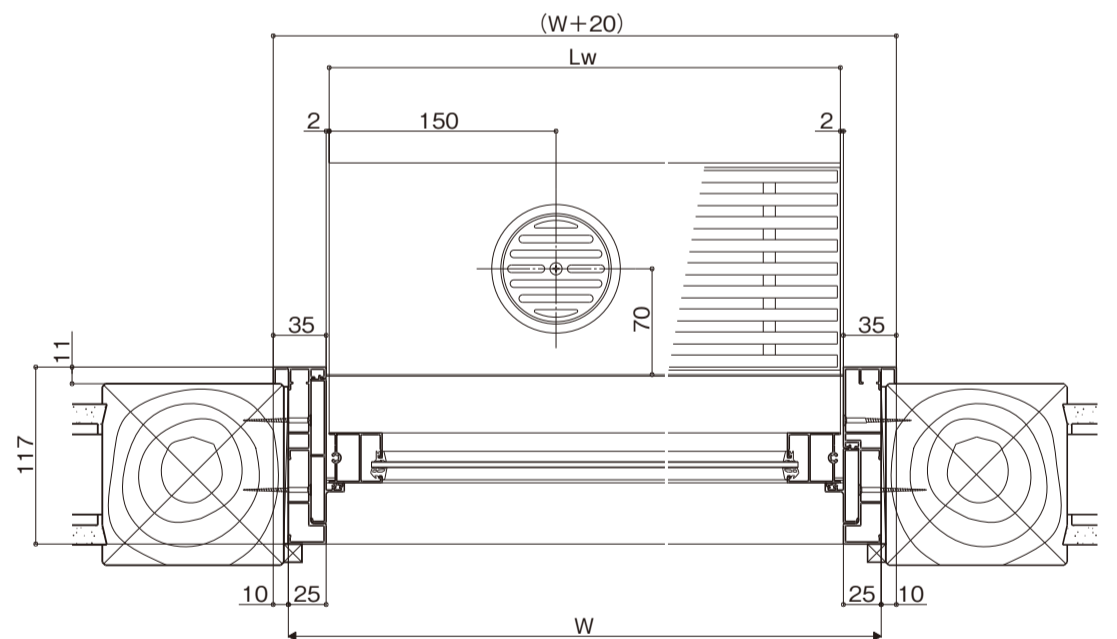
●縦断面図【ランマ付枠】



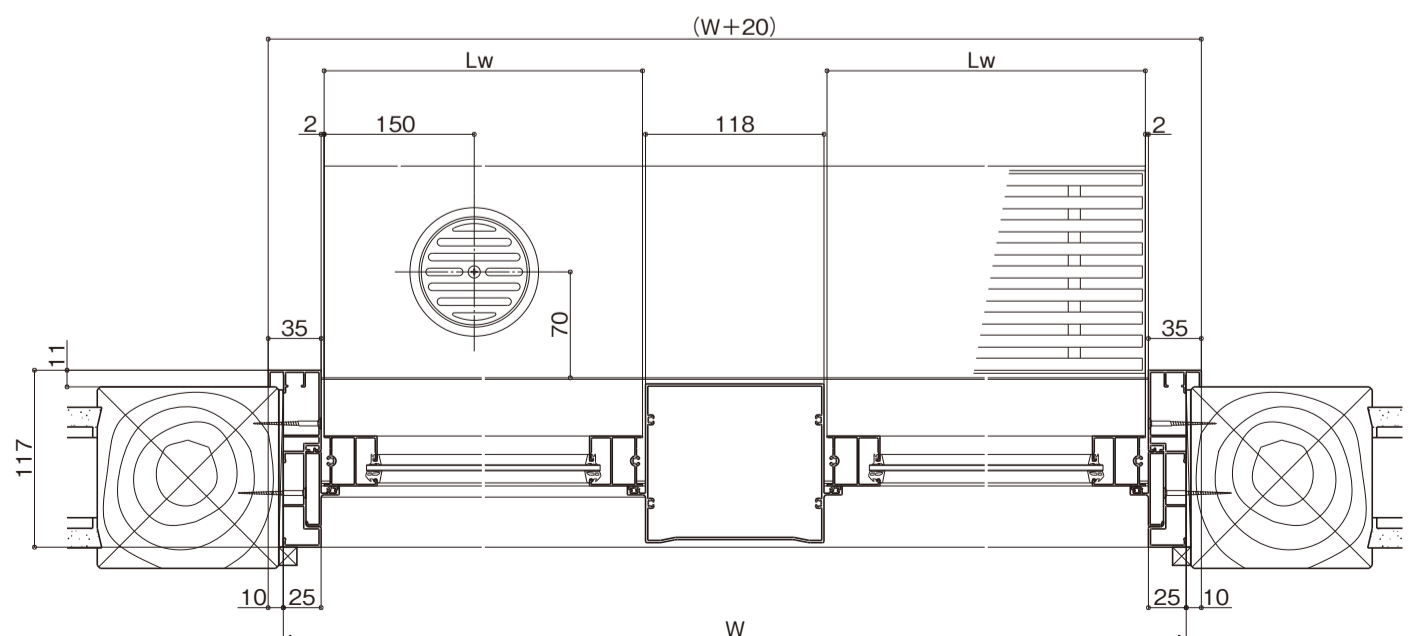
●縦断面図【ランマなし枠／上枠部】



●横断面図(2枚建)【ランマ部】

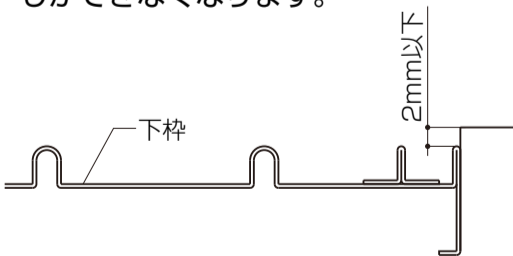


●横断面図(4枚建・引分け戸)【ランマ部】

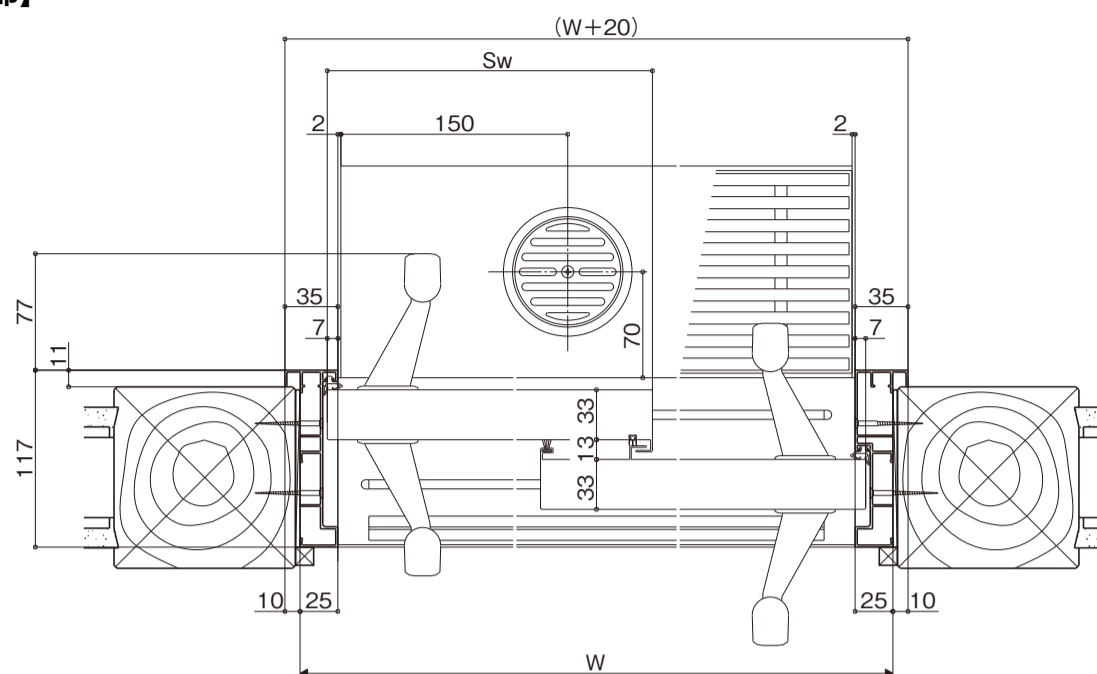


お願い

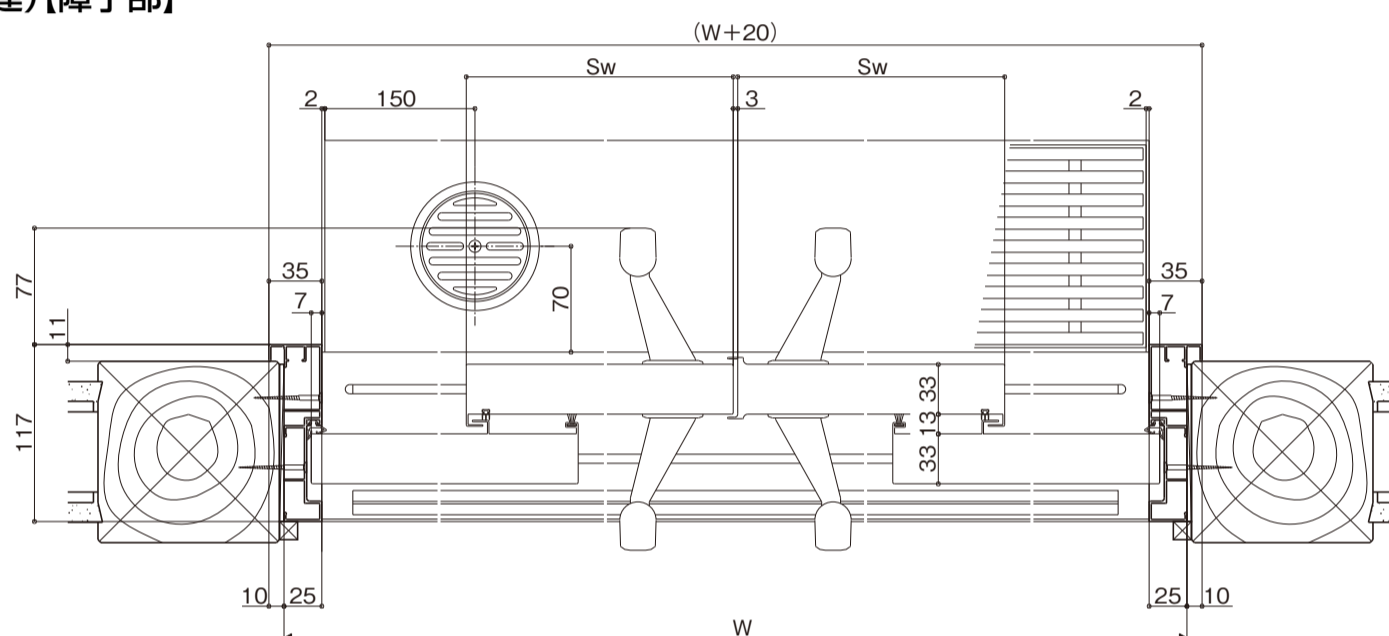
- 土間仕上げ高さは2mm以下にしてください。室内側から網戸の取付け取外しができなくなります。



●横断面図(2枚建)【障子部】



●横断面図(4枚建)【障子部】



●横断面図(引分け戸)【障子部】

